## 5.3 リモコンキーの登録数の確認方法

登録されているリモコンキーの台数及び登録済みのアドレス番号（メモリの使用状況）を確認することができます。

1）制御器のカバーを外してください。

2）登録スイッチを１秒間押します。
一度全てのランプが点灯します。

3）１秒後に、未登録のアドレスランプが消灯します。点灯し続けているのが登録済のアドレスです。
約１０秒間、登録アドレスを表示し、その後消灯し、運用状態に復帰します。

4）制御器カバーを元に戻します。

## 5.4 リモコンキーの登録先確認方法

どのリモコンキーがどのアドレス（メモリ）に登録されているかを確認することができます。

1）制御器のカバーを外してください。

2）制御器のアドレスランプを見ながら、リモコンキーの操作ボタンを押します。

3）そのリモコンキーが登録されているアドレスランプが点灯します。

4）制御器カバーを元に戻します。

# 6．操作方法

1）電波がとどく範囲でリモコンキーの操作ボタンを１回押します。
　正しい信号が制御器で受信されると、制御器の作動ランプが点灯し、接続機器に信号出力します。

## *正しく動作しないとき、ご確認下さい*

**■使える範囲を調べてからご利用ください。**
リモコンキーが使用できる範囲は、制御器を取付けた場所・その周りの壁の材質等により変わります。
ご利用前に、ご使用になる方ご自身で、使える範囲をご確認の上、ご利用ください。
通常、アンテナから１m、環境が良い場合は２～５mの範囲内で使用できます。

**■リモコンキーは、登録しないと使えません。**
工場出荷時には、制御器にリモコンキーを登録してありません。ご使用前に、必ず登録操作を行って下さい。

**■リモコンキーの操作ボタンは、ゆっくり確実に操作して下さい。**
操作時間が短い（０．２秒以下）と動作しないことがあります。

**■リモコンキーは１回のボタン操作で、１回だけ信号を送信します。**
操作に失敗した場合は、１度操作ボタンから手を離し、もう一度操作して下さい。

**■同時に２台以上のリモコンキーを操作すると、動作しません。**
リモコンキーは１台づつ操作して下さい。

**■電気･電子機器が近くで動作していると、感度が悪くなります。**
インバーター蛍光灯、コードレステレホン、掃除機、洗濯機、テレビ、ヘアドライヤー等からできるだけ離れたところでご使用下さい。

**■停電中は動きません。**
電気錠と組み合わせるときは、万一に備え、リモコンキーに鍵を付け、キーホルダーとしてご使用下さい。

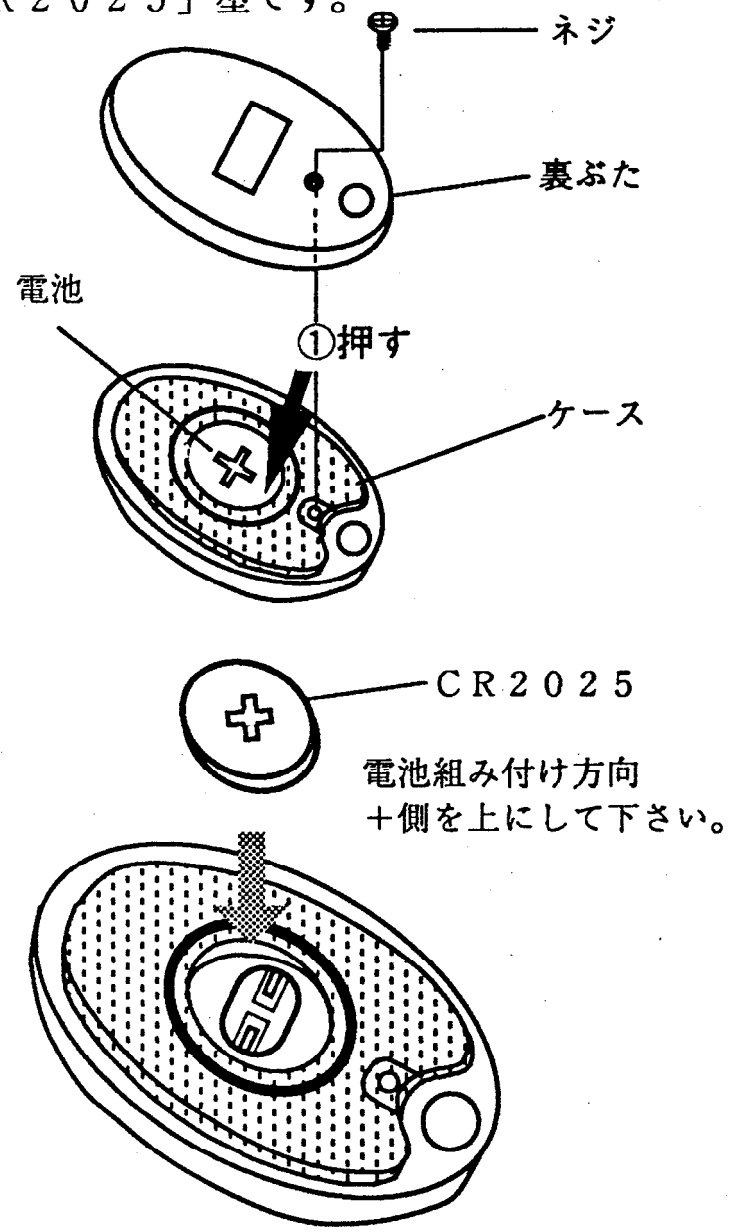
# 7．リモコンキーの電池交換方法

リモコンキーに使用している電池は、ボタン型リチウム電池「ＣＲ２０２５」型です。
カメラ店、家電店等でお買い求め下さい。

**ご注意**

■リモコンキーの電池寿命は、通常の使用で約２年です。
定期的な電池交換をおすすめします。
「作動距離が短くなってきたな」と感じたら、早目に電池を交換して下さい。

■お買上げ時にリモコンキーに内蔵されている電池はモニター用電池ですので、寿命は所定期間未満です。




1）リモコンキー背面のネジを取りはずして裏ぶたを開けます。

2）古い電池を取り出します。
電池は右図に示す矢印①の位置を押すと外れます。

3）新しい電池の＋側を上にしてケースに組み付けます。

4）裏ぶたをもとに戻し、ネジを締めます。

## 8．【取付前に必ずお読みください】

リモコンキーユニットＲＫＵ－００１は微弱電波を利用する電子機器です。
取付にあたっては下記の点にご注意下さい。

■必ず、本施工前に、仮配線・仮付けで、使用可能範囲を調査し、結果の良い取付場所を選定してください。
到達距離は、通常、直接見通し又は非金属の壁越しで２～５m、鉄骨・鉄筋モルタル壁の住宅玄関で扉・壁越し１m程度です。
注）制御器の設置場所とリモコンキーを操作する場所との間に金属部材の介在が多い場合や、周囲の電波ノイズが多い環境下では、ご利用いただけないこともあります。12項を良くお読みいただき設置場所を決定ください。

■リモコンキーを、登録してからお使い下さい。
工場出荷時、制御器にはリモコンキーを登録してありません。動作確認前に、必ず登録操作を行って下さい。

■電源アダプタ、またはお客様ご用意の電源を使用するときは、必ずケース裏側のジャンパー線を切断して下さい。

■電気錠と組み合わせて使用するときは、電気錠制御盤の制御モードを「Ａモード」または「Ｅモード」に設定して下さい。
「Ｂモード」運用は、不用意なボタン操作で解錠状態のままになる恐れがありますので避けて下さい。

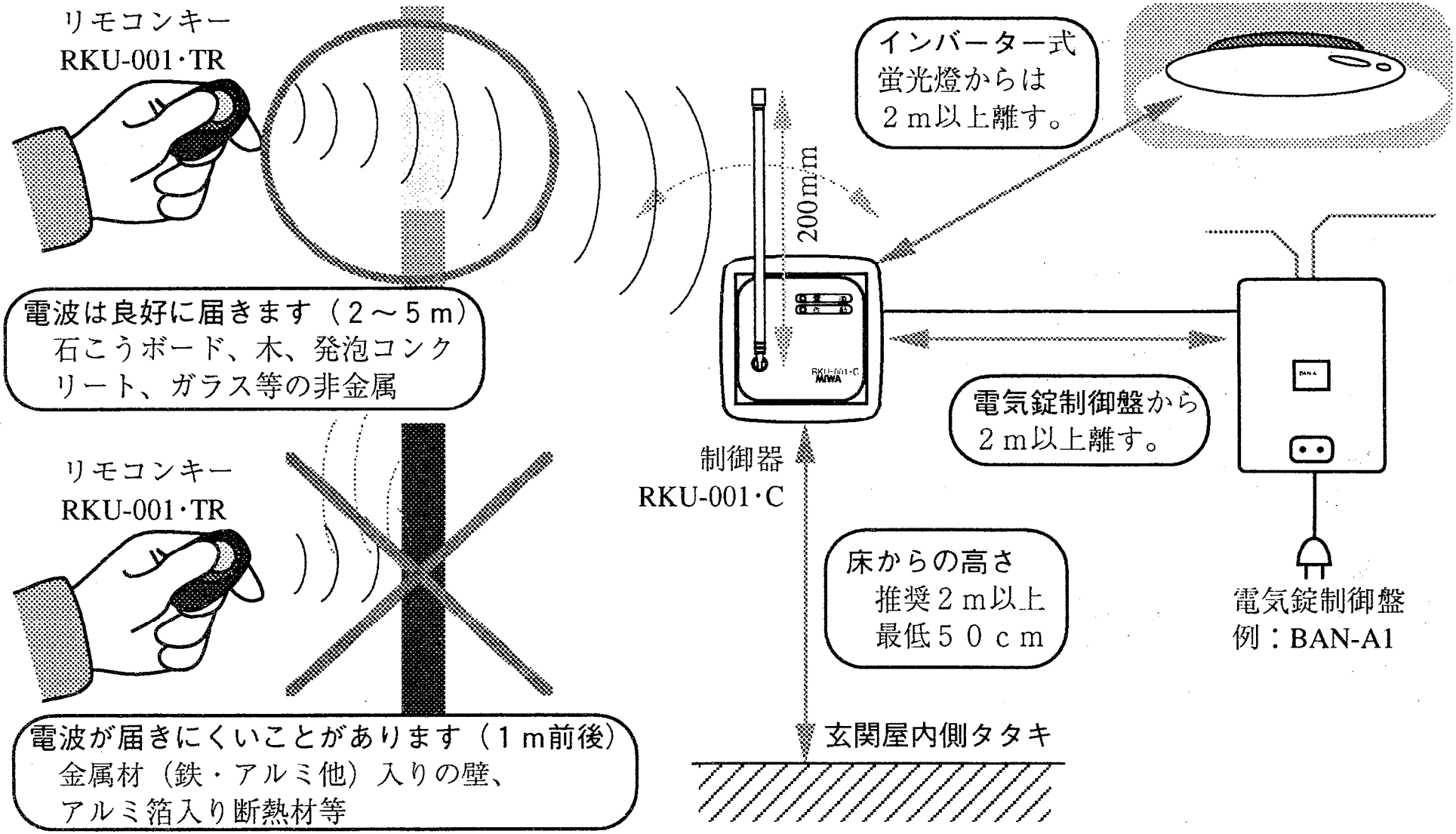
## 9．特長

○無電圧接点（フォトモスリレー）出力タイプなので、各種機器用の汎用スイッチとして利用できます。
接点出力時間は４種（0.5、１0、20秒、反転）の中から選べます。

○電気錠と組み合わせ、玄関扉の解錠装置として利用いただくときには、
・リモコンキー制御器は室内側に設置します。
・リモコンキーは室外からはもとより、室内からも解錠スイッチとして利用できます。
・外壁を貫通する工事は不要ですから、施工が容易にできます。
・広範囲での使用が可能です。
通常、木造住宅でアンテナから扉・壁越し２～５m、鉄骨・鉄筋モルタル住宅でアンテナから扉・壁越し１mの範囲で動作します。

# １０．施工図

設置工事を始める前に、お確かめください。



## １１．機器の構成

取付工事に先立ち、下記部品がそろっていることを御確かめください。

1）リモコンキー制御器　ＲＫＵ－００１・Ｃ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１台
2）リモコンキー　　ＲＫＵ－００１・ＴＲ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２ヶ
3）リモコンキー番号シール　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２枚
4）コネクタ付きコード　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１個
5）取扱説明書（本書）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１部
6）保証書　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１部

## １２．取付位置を決める【重要】

リモコンキー制御器の設置場所を決める際は、以下の条件を考慮して仮決めし、取付加工を始める前に仮配線・仮付で有効使用範囲（制御器の作動ランプの点灯）を確認し、決定して下さい。
通常、設置場所を選ぶことで、１ｍ以上、最大５ｍ程度の有効使用範囲を得ることができます。

**■リモコンキー制御器は屋内仕様です。**
雨水のかかる所には取付けないでください。

**■リモコンキー制御器を、玄関（内側）のタタキ等、リモコンキーの操作場所に近い、高い位置（できるだけ床面から２ｍ以上）に取付ける。**
・極端に低い位置（５０cm以下）は受信感度が悪くなります。
・低い位置に取付けると、衣服を引っ掛けたり、アンテナが目に当たる等の事故を招く恐れがあります。
・２００ｍｍ長ロッドアンテナのフリーアングル機能を考慮して取付位置を決めて下さい。